

【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号	★D-17-3-1, ★D-17-3-3, ★D-17-3-7, ★D-17-3-12, ★D-17-3-15, ★D-17-3-19, ★D-17-3-22																																				
事業名	復興まちづくりのための各種調査事業（南気仙沼地区）																																				
事業費	総額1,182,306千円（うち国費945,844千円） （内訳：調査設計費1,182,306千円）																																				
事業期間	平成24年度～令和2年度																																				
事業目的・事業地区	南気仙沼地区において、緊急かつ健全な市街地の復興を推進するため南気仙沼地区被災市街地復興土地区画整理事業における、換地設計、仮換地指定、換地計画などの換地のほか、測量、移転補償調査、事業計画、清算及び審議会運営などの区画整理業務などを実施したもの。（位置図は別紙のとおり）																																				
事業結果	<p>対象地区名：南気仙沼地区（施行面積：32.5ha）</p> <p>(1) 換地 (2) 測量 (3) 移転補償調査（建築物等移転） N=78棟 (4) 事業計画 (5) 審議会運営</p> <table border="0"> <tr> <td>＜平成24年度＞</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・事業計画など</td> <td>2,100千円</td> </tr> <tr> <td>＜平成25年度＞</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・換地、測量、移転補償調査、事業計画、審議会運営など</td> <td>103,713千円</td> </tr> <tr> <td>＜平成26年度＞</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・換地、測量、移転補償調査、事業計画、審議会運営など</td> <td>168,980千円</td> </tr> <tr> <td>＜平成27年度＞</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・換地、測量、移転補償調査、事業計画、審議会運営など</td> <td>279,090千円</td> </tr> <tr> <td>＜平成28年度＞</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・換地、測量、移転補償調査、事業計画、審議会運営など</td> <td>253,488千円</td> </tr> <tr> <td>＜平成29年度＞</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・換地、測量、移転補償調査、事業計画、審議会運営など</td> <td>268,329千円</td> </tr> <tr> <td>＜平成30年度＞</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・換地、測量、事業計画、審議会運営など</td> <td>90,123千円</td> </tr> <tr> <td>＜令和元年度＞</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・換地、測量、事業計画、審議会運営など</td> <td>8,296千円</td> </tr> <tr> <td>＜令和2年度＞</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・換地、事業計画など</td> <td>8,187千円</td> </tr> </table>	＜平成24年度＞		・事業計画など	2,100千円	＜平成25年度＞		・換地、測量、移転補償調査、事業計画、審議会運営など	103,713千円	＜平成26年度＞		・換地、測量、移転補償調査、事業計画、審議会運営など	168,980千円	＜平成27年度＞		・換地、測量、移転補償調査、事業計画、審議会運営など	279,090千円	＜平成28年度＞		・換地、測量、移転補償調査、事業計画、審議会運営など	253,488千円	＜平成29年度＞		・換地、測量、移転補償調査、事業計画、審議会運営など	268,329千円	＜平成30年度＞		・換地、測量、事業計画、審議会運営など	90,123千円	＜令和元年度＞		・換地、測量、事業計画、審議会運営など	8,296千円	＜令和2年度＞		・換地、事業計画など	8,187千円
＜平成24年度＞																																					
・事業計画など	2,100千円																																				
＜平成25年度＞																																					
・換地、測量、移転補償調査、事業計画、審議会運営など	103,713千円																																				
＜平成26年度＞																																					
・換地、測量、移転補償調査、事業計画、審議会運営など	168,980千円																																				
＜平成27年度＞																																					
・換地、測量、移転補償調査、事業計画、審議会運営など	279,090千円																																				
＜平成28年度＞																																					
・換地、測量、移転補償調査、事業計画、審議会運営など	253,488千円																																				
＜平成29年度＞																																					
・換地、測量、移転補償調査、事業計画、審議会運営など	268,329千円																																				
＜平成30年度＞																																					
・換地、測量、事業計画、審議会運営など	90,123千円																																				
＜令和元年度＞																																					
・換地、測量、事業計画、審議会運営など	8,296千円																																				
＜令和2年度＞																																					
・換地、事業計画など	8,187千円																																				
事業の実績に関する評価	<p>① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価</p> <p>本事業は南気仙沼地区被災市街地復興土地区画整理事業における区画整理業務を实</p>																																				

施したものであり、令和3年3月に業務が完了し、また、事業全体の工事が令和4年3月に竣工したことから、事業が適正に行われたと判断される。

②コストに関する調査・分析・評価

- ・本事業を含めて土地区画整理事業全体を、市からUR都市機構に対して専門性が高い特殊な業務であることから随意契約に基づき業務委託を行っている。また、UR都市機構はCM方式による一体的業務受注者として清水JVを選定し、事前協議、調査、測量、設計、施工の各業務を一体的に1つの組織で実施している。
- ・市からUR都市機構に対する当初の業務委託契約は概算見積額で締結し、年度毎に精算を行いながら、令和2年度までに6回の変更契約により事業費を管理した。

③事業手法に関する調査・分析・評価

- ・本事業を含めて土地区画整理事業全体を市からUR都市機構に対して専門性が高い特殊な業務であることから随意契約に基づき業務委託を行っている。また、UR都市機構はCM方式による一体的業務受注者として清水JVを選定し、事前協議、調査、測量、設計、施工の各業務を一体的に1つの組織で実施し、併せて、関連公共事業（道路事業、ガス事業、上下水道事業）の委託を受けて、市街地の早期復興を推進した。
- ・本事業は南気仙沼地区被災市街地復興土地区画整理事業及び道路整備事業（南気仙沼地区土地区画整理事業地内）と一体的に施行し、事業説明会・個別相談等を経て地区の合意形成を得ながら、H24年9月に施行区域、幹線道路の都市計画決定を実施した。
- ・H25年3月に土地区画整理事業認可を受け、区画整理審議会設立、仮換地（案）個別説明、造成工事に着手し、事業を進めた。関連が深い土地区画整理事業と一体的に事業を行うことで効率的に事業を推進し、早期復興を実現した。
- ・南気仙沼地区における本事業は、以下の通りおおむね予定通り事業を進めることができた。

<想定した事業期間>

- ・調査測量の契約・完了  
平成24年4月～令和3年3月

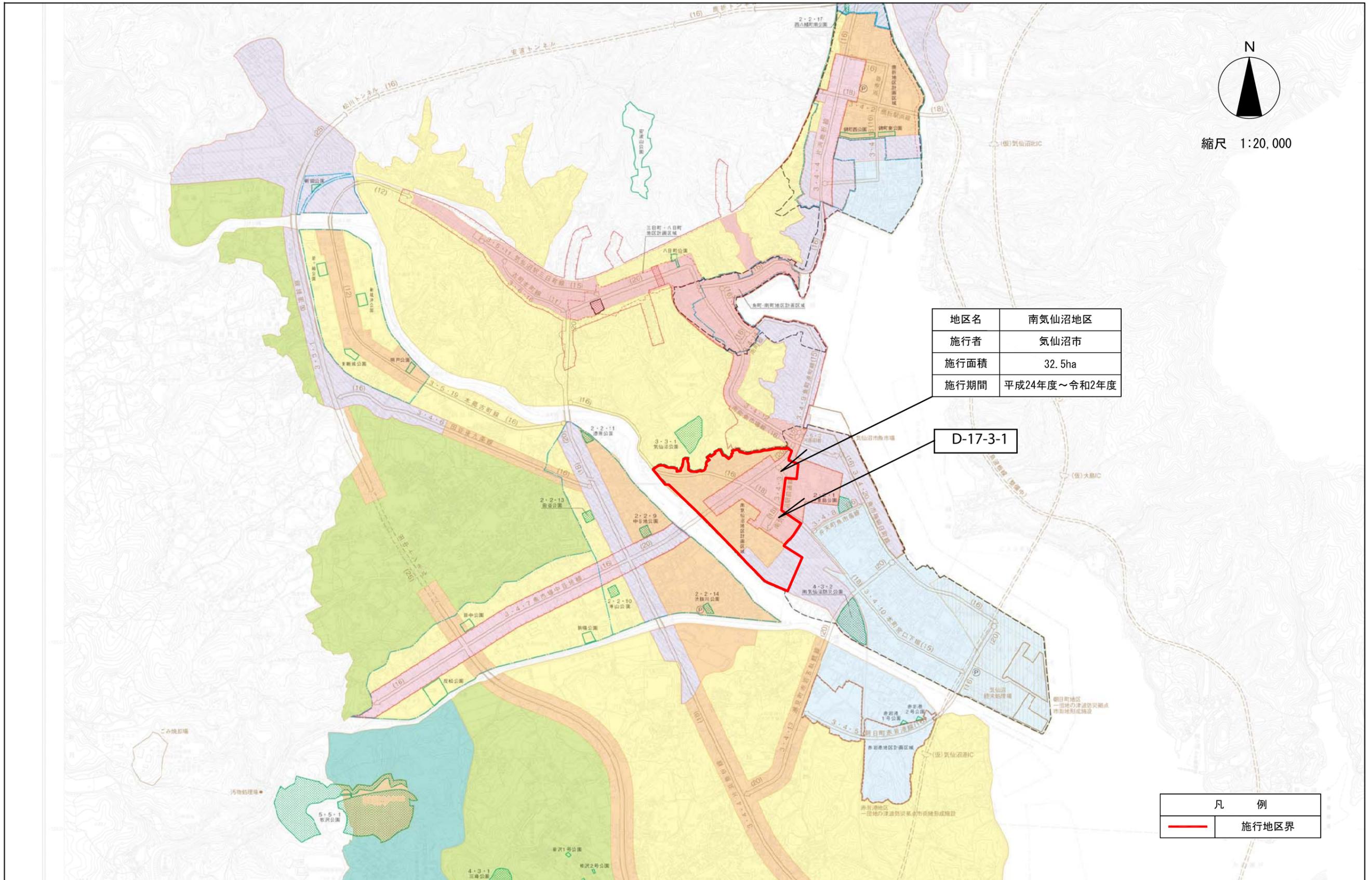
<実際に事業に有した事業期間>

- ・調査測量の契約・完了  
平成24年10月～令和3年3月

事業担当部局

建設部都市計画課 電話番号：0226-22-3452

気仙沼都市計画事業 南気仙沼地区被災市街地復興土地地区画整理事業 位置図



地区名	南気仙沼地区
施行者	気仙沼市
施行面積	32.5ha
施行期間	平成24年度～令和2年度

D-17-3-1

凡 例	
	施行地区界

【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号	★D-17-6-2, 4, 6									
事業名	被災市街地土地区画整理事業における雨水枝幹線外整備事業 (鹿折地区)									
事業費	総額239,434千円(191,547千円) (内訳:工事費239,434千円)									
事業期間	平成26年度～平成29年度									
事業目的・事業地区	鹿折地区の被災市街地復興土地区画整理事業において、排水側溝が宅内へのインフラ引込に影響しないよう雨水枝幹線を整備するもの。(位置図は別紙のとおり)									
事業結果	対象地区名:鹿折地区(面積:42.0ha) 延長:1,286m(□400×400～□1200×1100)  <table border="0"> <tr> <td>&lt;平成26年度&gt;</td> <td>雨水枝幹線実施設計・整備</td> <td>10,000千円</td> </tr> <tr> <td>&lt;平成27年度&gt;</td> <td>雨水枝幹線実施設計・整備</td> <td>121,500千円</td> </tr> <tr> <td>&lt;平成28年度&gt;</td> <td>雨水枝幹線実施設計・整備</td> <td>107,934千円</td> </tr> </table>	<平成26年度>	雨水枝幹線実施設計・整備	10,000千円	<平成27年度>	雨水枝幹線実施設計・整備	121,500千円	<平成28年度>	雨水枝幹線実施設計・整備	107,934千円
<平成26年度>	雨水枝幹線実施設計・整備	10,000千円								
<平成27年度>	雨水枝幹線実施設計・整備	121,500千円								
<平成28年度>	雨水枝幹線実施設計・整備	107,934千円								
事業の実績に関する評価	<p>①事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業は、土地区画整理事業によって整備する雨水排水施設の機能を補完する雨水(枝)幹線を整備し、雨水を効率的に集水・排水し、宅地及び道路等公共施設の安全性を高めるものである。鹿折地区は令和元年度に土地区画整理事業が竣工し、良好な市街地整備が行われたことから、事業が適正に行われたと判断される。</li> </ul> <p>②コストに関する調査・分析・評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業を含めて土地区画整理事業全体を、市からUR都市機構に対して随意契約に基づき業務委託を行っている。また、UR都市機構はCM方式による一体的業務受注者として清水JVを選定し、事前協議、調査、測量、設計、施工の各業務を一体的に1つの組織で実施している。</li> <li>・&lt;特命による随意契約の理由&gt; <ul style="list-style-type: none"> <li>・独立行政法人都市再生機構(以下「UR」という。)は、復興特別区域法に基づく復興整備計画に定められた復興整備事業を行うことができるとされている。</li> <li>・URは阪神淡路大震災における復興支援の経験や、豊富なまちづくりのノウハウ及び大規模な事業の遂行能力を有している。</li> <li>・上記のことから、平成24年6月にURと協力協定を結び、URと合意が得られた鹿折地区及び南気仙沼地区の土地区画整理事業施行区域内について業務委託契約を特命するものである。</li> </ul> </li> <li>・市からUR都市機構に対する当初の業務委託契約は概算見積額で締結し、年度毎に精算を行いながら、令和2年度までに6回の変更契約により事業費を管理した。</li> <li>・UR都市機構と清水JVでは、事業進捗に合わせて積算及び価格協議を経て42回の設計変更を実施した。また、精算業務としてオープンブック方式を用いた原価管理会議を月次で開催し、全てのコストについてUR都市機構や第三者が監査を行っている。</li> </ul>									

③事業手法に関する調査・分析・評価

- ・本事業は土地区画整理事業及び道路整備と合わせて実施したことにより、効果的に市街地復興の促進が可能となり、宅地整備及び道路整備において効率的に事業を推進した。
- ・本事業を含めて土地区画整理事業全体を市からUR都市機構に対して随意契約に基づき業務委託を行っている。また、UR都市機構はCM方式による一体的業務受注者として清水JVを選定し、事前協議、調査、測量、設計、施工の各業務を一体的に1つの組織で実施し、併せて、関連公共事業(道路事業、ガス事業、上下水道事業)の委託を受けて、市街地の早期復興を推進した。
- ・鹿折地区における被災市街地土地区画整理事業における雨水枝幹線外整備事業は、以下の通りおおむね予定通り事業を進めることができた。

<想定した事業期間>

- ・実施設計及び整備の契約・完了  
平成26年4月～平成30年3月

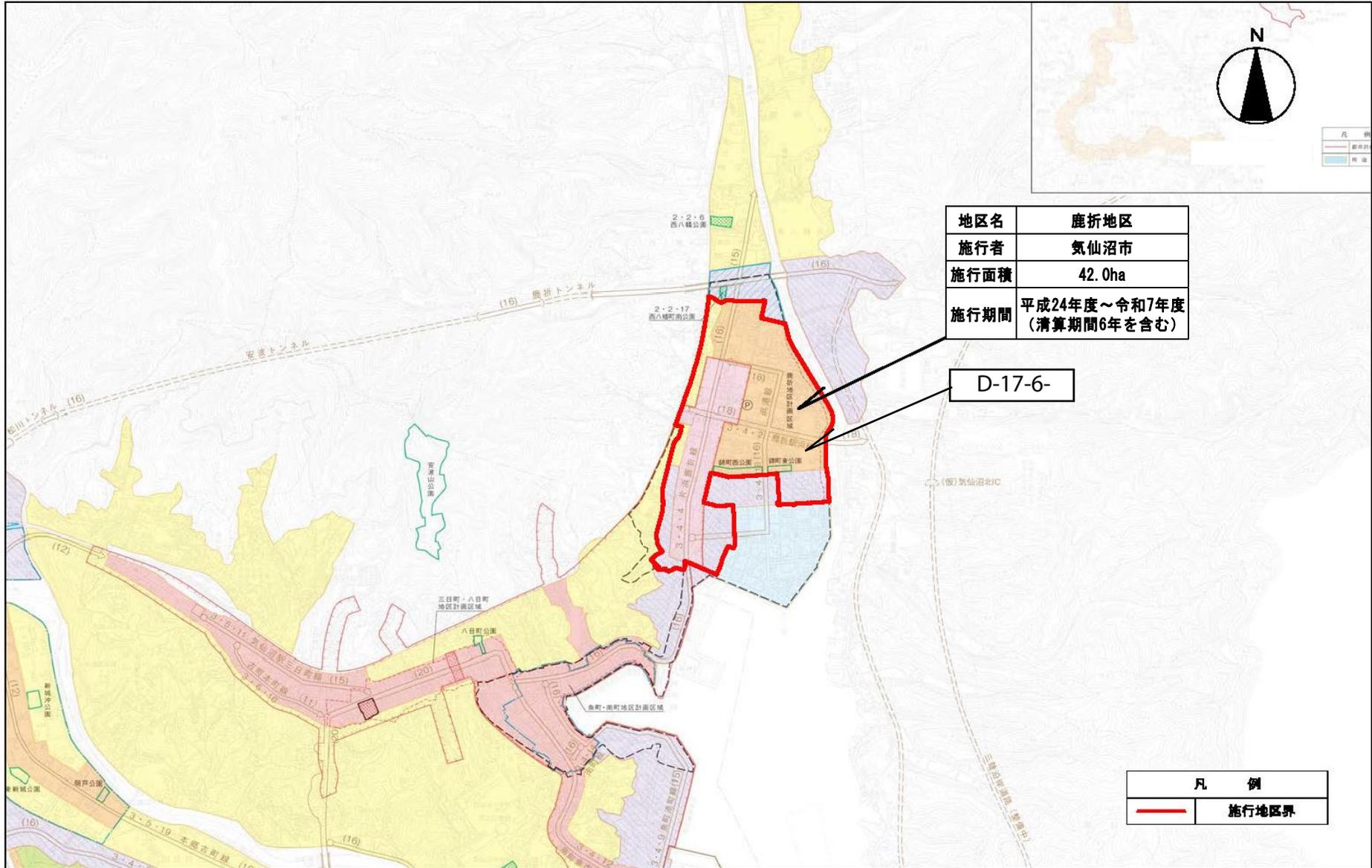
<実際に事業に有した事業期間>

- ・実施設計及び整備の契約・完了  
平成26年4月～平成30年3月

事業担当部局

建設部都市計画課 電話番号：0226-22-3452

# 気仙沼都市計画事業 鹿折地区被災市街地復興土地地区画整理事業 位置図



【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号	★D-17-7-5, 7, 9, 15												
事業名	被災市街地土地区画整理事業における雨水枝幹線外整備事業 (南気仙沼地区)												
事業費	総額375,524千円(うち国費300,417千円) (内訳:工事費375,524千円)												
事業期間	平成26年度～平成29年度												
事業目的・事業地区	南気仙沼地区の被災市街地復興土地区画整理事業において、排水側溝が宅内へのインフラ引込に影響しないよう雨水枝幹線を整備するもの。(位置図は別紙のとおり)												
事業結果	<p>対象地区名: 南気仙沼地区 (面積: 32.5ha)          延長: 雨水(枝)幹線: 1,545m (□600×600～□1100×1100), 雨水吐口: 1箇所</p> <table border="0"> <tr> <td>&lt;平成26年度&gt;</td> <td>雨水枝幹線実施設計・整備</td> <td>56,008千円</td> </tr> <tr> <td>&lt;平成27年度&gt;</td> <td>雨水枝幹線実施設計・整備</td> <td>127,332千円</td> </tr> <tr> <td>&lt;平成28年度&gt;</td> <td>雨水枝幹線実施設計・整備</td> <td>111,873千円</td> </tr> <tr> <td>&lt;平成29年度&gt;</td> <td>雨水枝幹線実施設計・整備</td> <td>80,311千円</td> </tr> </table>	<平成26年度>	雨水枝幹線実施設計・整備	56,008千円	<平成27年度>	雨水枝幹線実施設計・整備	127,332千円	<平成28年度>	雨水枝幹線実施設計・整備	111,873千円	<平成29年度>	雨水枝幹線実施設計・整備	80,311千円
<平成26年度>	雨水枝幹線実施設計・整備	56,008千円											
<平成27年度>	雨水枝幹線実施設計・整備	127,332千円											
<平成28年度>	雨水枝幹線実施設計・整備	111,873千円											
<平成29年度>	雨水枝幹線実施設計・整備	80,311千円											
事業の実績に関する評価	<p>①事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業は、土地区画整理事業によって整備する雨水排水施設の機能を補完する雨水(枝)幹線を整備し、雨水を効率的に集水・排水し、宅地及び道路等公共施設の安全性を高めるものである。南気仙沼地区は令和2年度に土地区画整理事業が竣工し、良好な市街地整備が行われたことから、事業が適正に行われたと判断される。</li> </ul> <p>②コストに関する調査・分析・評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業を含めて土地区画整理事業全体を、市からUR都市機構に対して随意契約に基づき業務委託を行っている。また、UR都市機構はCM方式による一体的業務受注者として清水JVを選定し、事前協議、調査、測量、設計、施工の各業務を一体的に1つの組織で実施している。</li> <li>・市からUR都市機構に対する当初の業務委託契約は概算見積額で締結し、年度毎に精算を行いながら、令和2年度までに6回の変更契約により事業費を管理した。</li> <li>・UR都市機構と清水JVでは、事業進捗に合わせて積算及び価格協議を経て42回の設計変更を実施した。また、精算業務としてオープンブック方式を用いた原価管理会議を月次で開催し、全てのコストについてUR都市機構や第三者が監査を行っている。</li> </ul> <p>③事業手法に関する調査・分析・評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業は土地区画整理事業及び道路整備と合わせて実施したことにより、効果的に市街地復興の促進が可能となり、宅地整備及び道路整備において効率的に事業を推進した。</li> <li>・本事業を含めて土地区画整理事業全体を市からUR都市機構に対して随意契約に基づき業務委託を行っている。また、UR都市機構はCM方式による一体的業務受注者として</li> </ul>												

清水JVを選定し、事前協議、調査、測量、設計、施工の各業務を一体的に1つの組織で実施し、併せて、関連公共事業（道路事業、ガス事業、上下水道事業）の委託を受けて、市街地の早期復興を推進した。

<特命による随意契約の理由>

- ・独立行政法人都市再生機構（以下「UR」という。）は、復興特別区域法に基づく復興整備計画に定められた復興整備事業を行うことができるとされている。
- ・URは阪神淡路大震災における復興支援の経験や、豊富なまちづくりのノウハウ及び大規模な事業の遂行能力を有している。
- ・上記のことから、平成24年6月にURと協力協定を結び、URと合意が得られた鹿折地区及び南気仙沼地区の土地区画整理事業施行区域内について業務委託契約を特命するものである。
- ・南気仙沼地区における被災市街地土地区画整理事業における雨水枝幹線外整備事業は、以下の通りおおむね予定通り事業を進めることができた。

<想定した事業期間>

- ・実施設計及び整備の契約・完了  
平成26年4月～平成30年3月

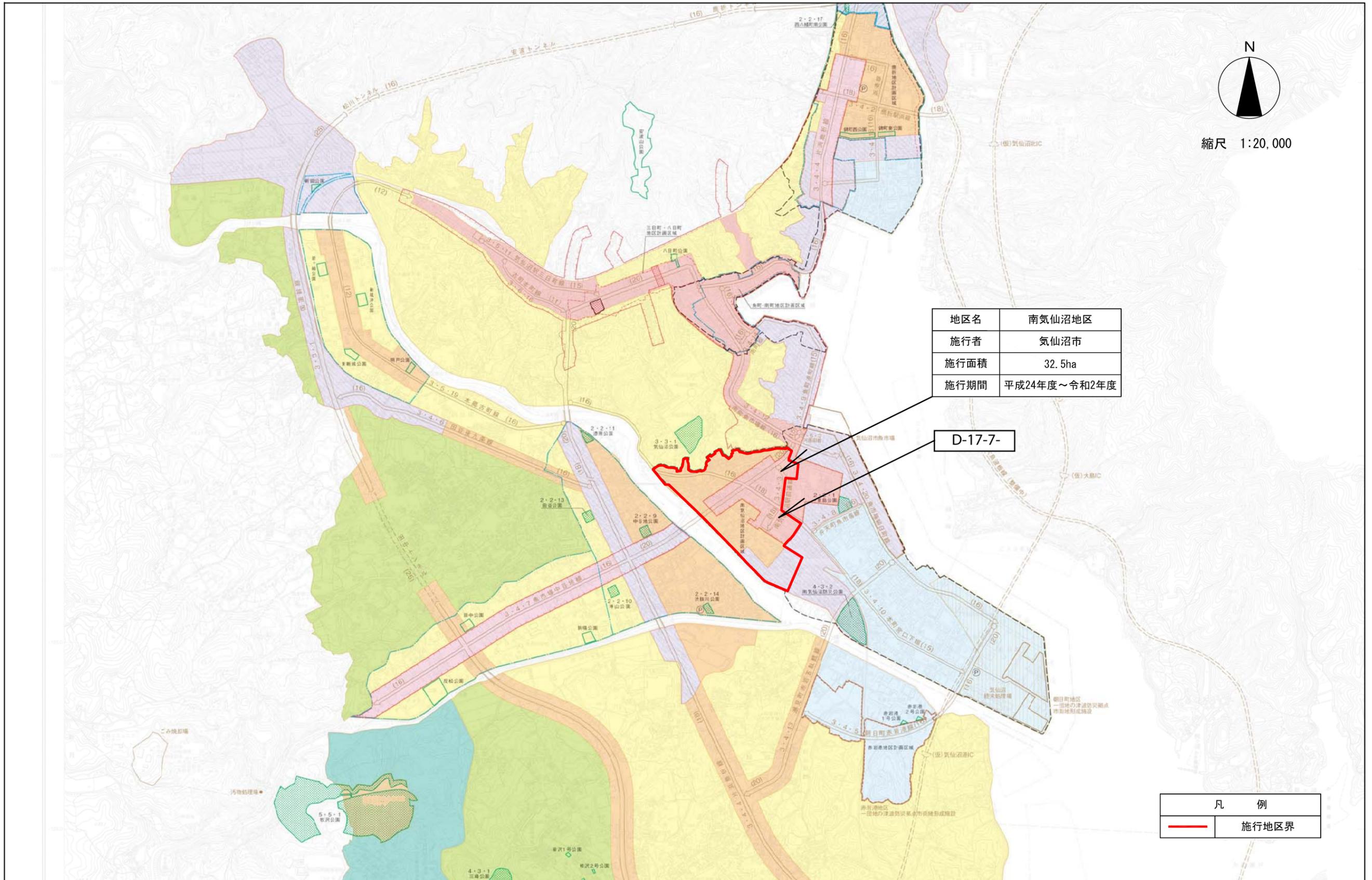
<実際に事業に有した事業期間>

- ・実施設計及び整備の契約・完了  
平成26年4月～平成30年3月

事業担当部局

建設部都市計画課 電話番号：0226-22-3452

# 気仙沼都市計画事業 南気仙沼地区被災市街地復興土地地区画整理事業 位置図



【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号	★D-17-7-19
事業名	復興地域づくり加速化事業（南気仙沼地区）
事業費	総額6,889千円（うち国費5,511千円） （内訳：工事費6,889千円）
事業期間	令和元年度
事業目的・事業地区	南気仙沼地区において、緊急かつ健全な市街地の復興を推進するため南気仙沼地区被災市街地復興土地区画整理事業区域内における、JR気仙沼線BRTと都市計画道路魚市場中谷地線の交差部における交通安全施設を整備したもの。（位置図は別紙のとおり）
事業結果	対象地区名：南気仙沼地区（施行面積：32.5ha） (1) カーゲート 一式  <令和元年度> ・工事施工 6,889千円
事業の実績に関する評価	<p>① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価</p> <p>本事業は南気仙沼地区被災市街地復興土地区画整理事業区域内における、JR気仙沼線BRTと都市計画道路魚市場中谷地線の交差部において、BRT専用道へ一般車両が誤進入を防ぐため、カーゲートを整備したものであり、令和2年2月に工事が竣工したことから、事業が適正に行われたと判断される。</p> <p>② コストに関する調査・分析・評価</p> <p>本事業の発注については、JR気仙沼線BRT専用道路に一般車両の誤進入を防ぐカーゲートを整備したものである。工事の発注に際しては、特殊製品（カーゲート本体）は業者見積によるが、それ以外の製品などは、建設物価や積算資料などの公的な資料により製品単価を採用し、人件費については、宮城県が定める労務単価を用い、諸経費の積算については、宮城県が定める基準を用いて発注したことから、適切な発注と判断される。</p> <p>③ 事業手法に関する調査・分析・評価</p> <p>南気仙沼地区における本事業は、以下の通りおおむね予定通り事業を進めることができた。</p> <p>&lt;想定した事業期間&gt; ・工事の契約・完了 令和元年8月～令和2年2月</p> <p>&lt;実際に事業に有した事業期間&gt; ・工事の契約・完了 令和元年8月～令和2年2月</p>
事業担当部局	建設部都市計画課 電話番号：0226-22-3452

気仙沼都市計画事業 南気仙沼地区被災市街地復興土地地区画整理事業 位置図

